

ささえあって 輝いて あなたもわたしも未来へ向かって

金沢市
男女共同参画情報誌

2022
VOL. 48

るうぷ

P2

金沢市男女共同参画に関する
市民意識調査・事業所アンケート調査

P6

「2人の未来を話そう」
ワークショップ報告

P8

Information
“アンケートに答えてプレゼントをゲット”

お問い合わせはこちらまで

金沢市ダイバーシティ人権政策課

076-220-2095

発行：金沢市ダイバーシティ人権政策課

〒920-8577 金沢市広坂 1-1-1

TEL 076-220-2095 FAX 076-260-1178

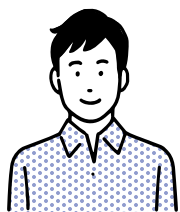
Email: jinken@city.kanazawa.lg.jp

金沢市 男女共同



編集：子育て向上委員会





＼ 新たな計画の策定に向けて /



男女共同参画に関する

市民意識調査・事業所アンケート調査

現行の「新金沢市男女共同参画推進行動計画（改訂版）」の計画期間が令和4年度末で終了することに伴い、新たな行動計画の策定に向け、「市民意識調査・事業所アンケート調査」を実施しました。新しい計画は令和5年3月策定予定です（計画期間：R5年度～R14年度）。すべての調査結果は、金沢市のホームページからご覧いただけます。

金沢市 男女調査

検索

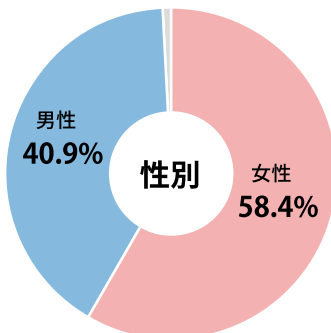


市民意識調査

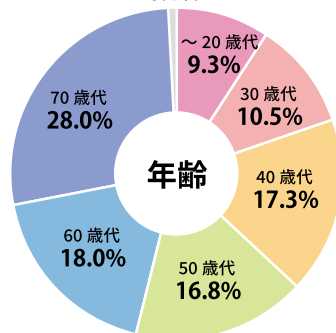
1,109 名の方にご回答いただきました。
ありがとうございました！

調査地域	金沢市全域
調査対象	金沢市に居住する 18 歳以上の市民 2,500 人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収またはウェブ回答
調査期間	令和3年12月1日～12月20日

どちらとも言えない・
回答したくない・無回答 0.7%



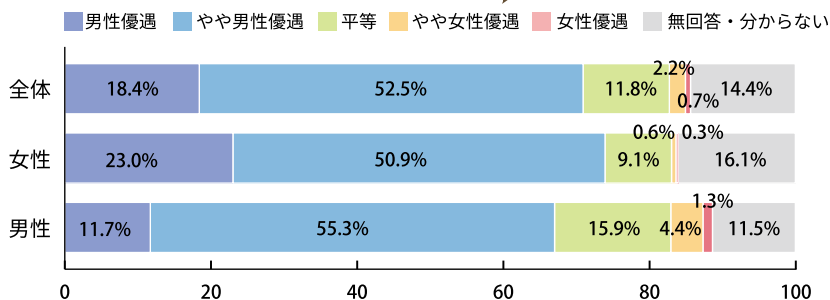
無回答 0.1%



1

男女の地位の平等感

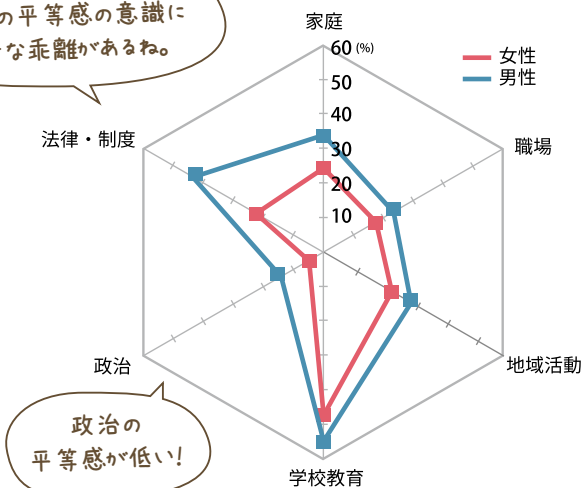
社会全体での男女の平等感



社会全体で男性優位と
思っている人は男女ともに
7 割ほどを占めている！

法律・制度では
男女の平等感の意識に
大きな乖離があるね。

平等と回答した人の割合

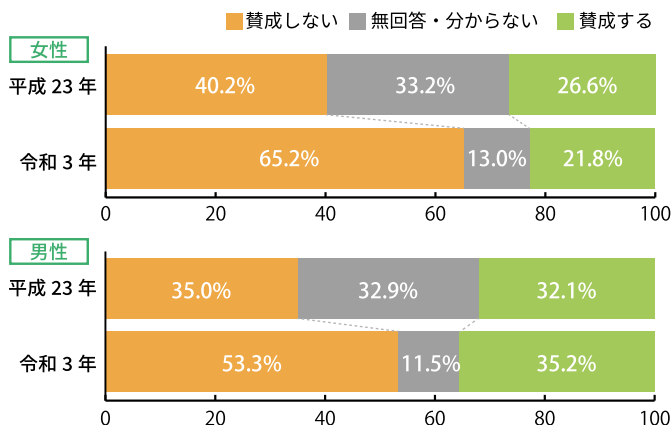
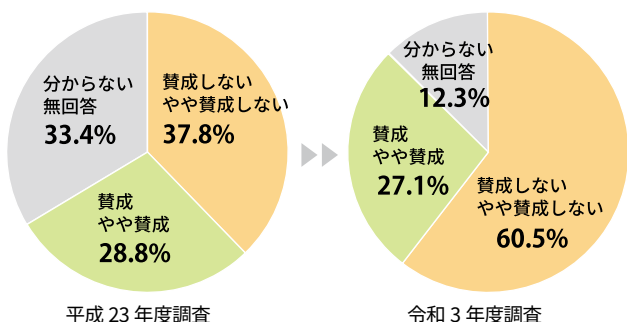


政治の
平等感が低い！

2

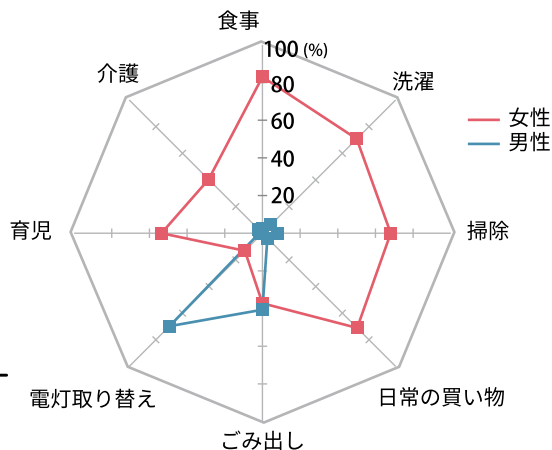
性的役割分担意識

「男は仕事、女は家庭」の考え方について



3 家庭での役割分担の現状 (共働きの場合)

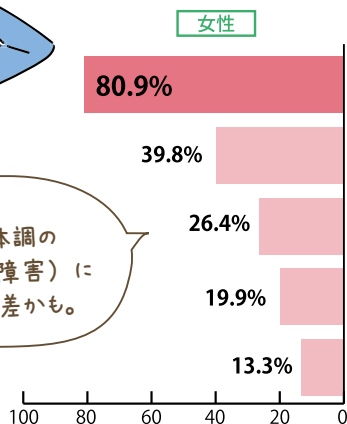
共働きであっても、多くの家庭では毎日の家事や育児、介護を女性が担っています。一方で男性の家事は、週に数回のごみ出しや年数回の電灯の取り替えが中心となっています。女性の家庭での負担の大きさが分かる結果となりました。



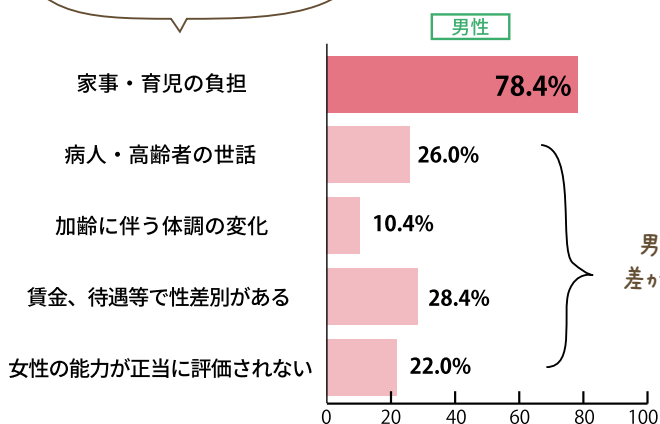
4 女性が職業を 続けていく上での課題



女性の閉経による体調の変化(更年期障害)に対する認識の差かも。



家事・育児の多くを女性が担っている現状が就業継続を困難にしていると男女ともに認識しているね。



男女で差がある！

5 職場で女性リーダーを増やすとき 課題となるものは 何だと思いますか？

1 番多かった意見 家事・育児・介護の負担 47.1%

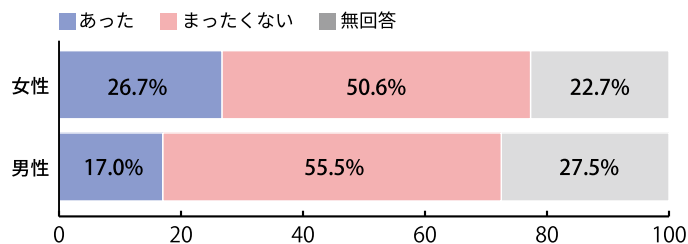
次に多かった意見 長時間労働 35.2%

「女性自身がリーダーになることを希望しない」という回答が女性に比べ、男性は8.1ポイント高い結果となりました。女性は家庭と仕事のバランスに悩み、リーダーを希望できないのかもしれませんが。その姿が男性には、リーダーを希望していないように映っている可能性も大きいです。長時間労働の是正、家庭の役割分担の相互協力が求められています。

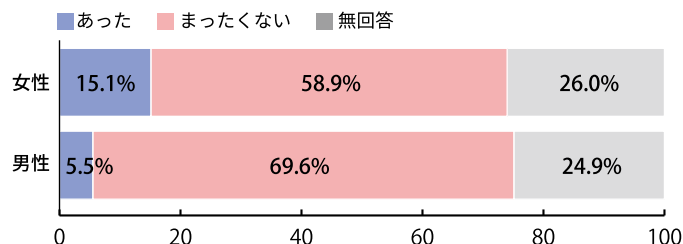


男女ともに長時間労働を是正して家事・育児・介護の相互協力を進めることが必要だと認識していることが分かるね！

6 配偶者等からの暴力（DV）被害経験



7 交際相手からの暴力（デートDV）被害経験



女性の3.7人に1人



男性の5.9人に1人

被害に遭うのは女性の方が多くけれど、男性も被害に遭っていることが分かるね。DVの背景には「男（女）はこうあるべき」という偏ったジェンダー観があるとされているよ。

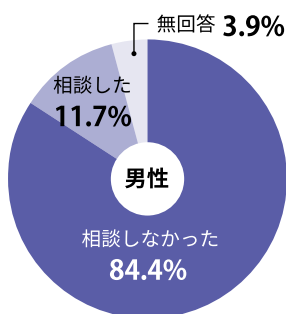
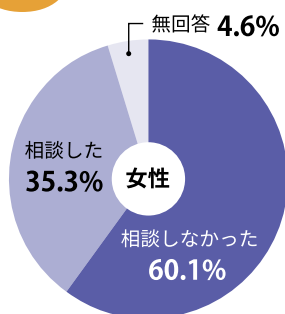


女性の6.6人に1人



男性の18.2人に1人

8 DV被害の相談状況



相談していない人が女性は6割、男性は8割と、とても大きい数字。暴力をふるわれていい人はいません。ひとりで抱えずに相談してね！

相談しない理由の上位	女性	男性
相談するほどでもないと思った	43.3%	55.4%
自分さえ我慢すればいいと思った	34.6%	15.4%
自分にも悪いところがあると思った	26.9%	33.8%

STOP DV!

DVやデートDVは人権軽視から生まれる暴力です。たとえ親しい間柄であっても暴力は許されるものではなく「人権侵害」であり「犯罪」となる行為です。



身体的暴力

- ・ なぐる、ける
- ・ 髪を引っ張る
- ・ 物を投げる

精神的暴力

- ・ 大声で怒鳴る
- ・ 無視をする
- ・ 脅す、バカにする

経済的暴力

- ・ 生活費を渡さない
- ・ 借金を負わされる
- ・ 外で働かせてくれない

性的暴力

- ・ 性行為の強要
- ・ 無理やりポルノを見せる
- ・ 避妊に協力しない

社会的暴力

- ・ メールやSNSを監視する
- ・ 交友関係を制限する
- ・ 外出を制限する

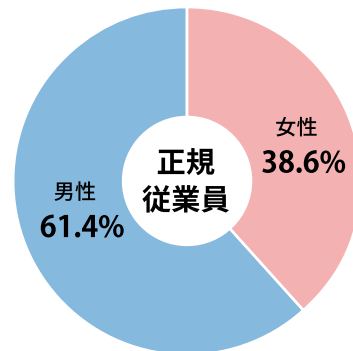
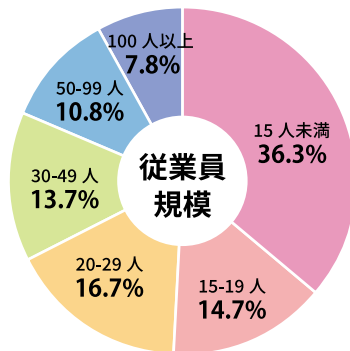
子どもを利用した暴力

- ・ 子どもに暴力を見せる
- ・ 子どもの前で中傷する
- ・ 子どもを傷つけると脅す

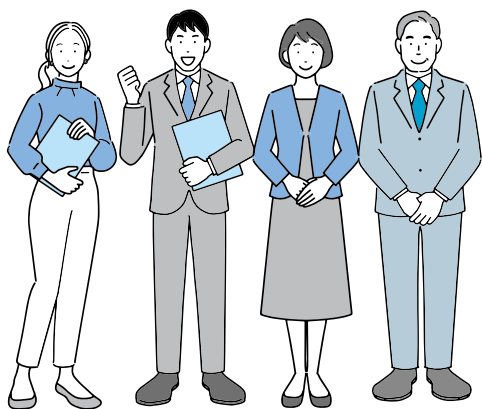
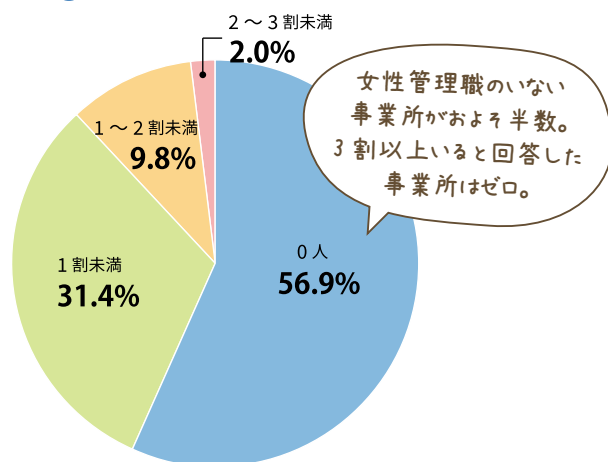
事業所アンケート調査

102の事業所にご回答いただきました。
ありがとうございました！

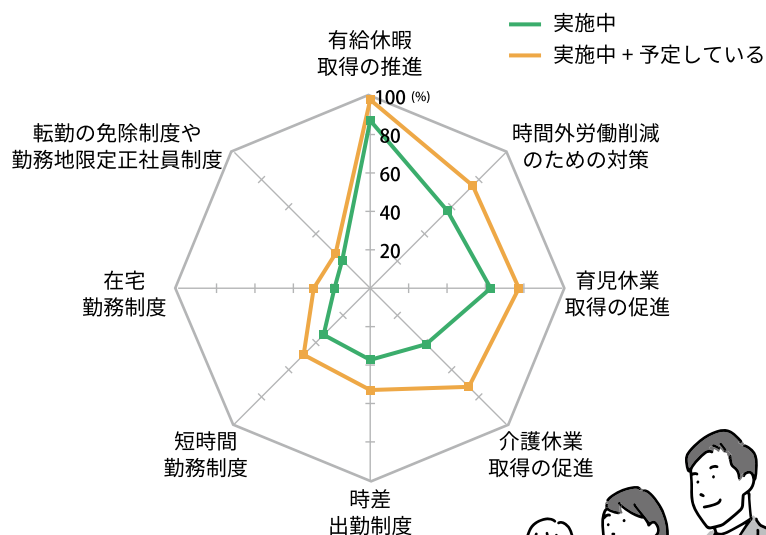
調査地域	金沢市全域
調査対象	従業員10人以上の市内事業所300社
抽出方法	事業所母集団データベースから無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送回収またはウェブ回答
調査期間	令和3年12月1日～12月20日



1 女性管理職の割合



2 ワークライフバランスのために実施していること

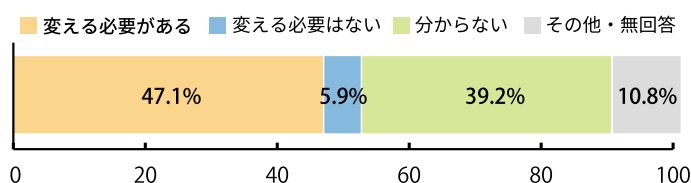


有給休暇取得の促進や時間外労働の削減、育児休業などは法律改正の効果が見られているようで高い値を示しています。短時間勤務制度や育児休業取得促進に取り組んでいる企業は少なくないものの、その利用者は女性に偏っています。男性も取得できるよう、ワークライフバランスの改善が求められます。

3 男性の意識改革

男性の意識改革の必要性を感じている事業所はおよそ半数。ただ、同時に女性の意識の改革も必要であり、女性が仕事への意欲を持てるように家庭の役割負担を軽減することも必要です。

男性も女性もともに意識を変えていこうね！



金沢市家事シェアプロジェクト事業

パートナーと一緒に取り組む家事・育児 「2人の未来を話そう」 ワークショップ

家事や子育てのこと。仕事のこと。
家族の未来について考えてみたよ。

金沢市の家事シェアプロジェクト事業として、
コミュニティアプリ「ママリ」を運営しているコネヒト株式会社の
山本さんを講師に迎え、「家族の未来」について話し合う
オンラインワークショップを開催しました。



日時

2022年7月9日（土）
10:00～12:00

対象

金沢市在住または在勤のカップル、ご夫婦
※お一人での参加も大歓迎

講師

コネヒト株式会社
山本 賢氏

夫婦で家事・育児について話し合う時間を持つことで 役割分担の納得感と生活満足度を高めていこう

乳幼児期における 家事育児の協力体制が 夫婦関係に影響を与える

今回のセミナーはZoomを使ってオンラインでおこなわれました。

講師の山本さんより、現代における『夫婦の生活・育児を取り巻く環境』についてのレクチャーからスタート。

統計データをもとに、共働き世帯数は増加傾向でいまや専業主婦世帯数の2.5倍になっていることや、その一方で家事育児は妻が圧倒的に担っていることが説明されます。さらに、子どもの乳幼児期に夫が家事育児に主体的に取り組むことが、その後の夫婦関係や子どもの出生数にプラスの影響を及ぼすこともデータで示されました。

育児・介護休業法の改正にともなって、男性も育休を取得しやすい方向に変わってきています。しかし実態は育休中の3人に1人の夫が2時間以下の家事育児時間の「とるだけ育休」になっているとのこと。家にいながら夫婦で協力していない状態は、生活満足度がどんどん下がるそう。夫婦で話し合い、納得感を持って家事や育児をしていくことの必要性を、まず全員で共有しました。



続いて始まったワークショップ。3つのグループに分かれ、アイスブレイクとして『ワークショップに参加した理由』などについて参加者それぞれが語りました。「みんながどんな風に家事育児をしているのか知りたい」という声や「子どもはもう中学生になったが、この機会に改めて考えたい」という声が上がられました。

家族の未来を考えてみよう

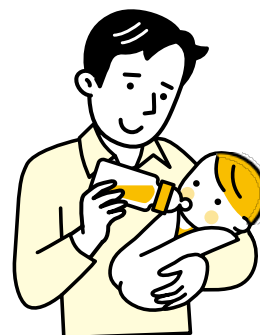
参加者の気持ちがほぐれた後で、グループワークに入ります。

課題1は『家族の幸せな未来を想像したときにどんな場面が思い浮かぶか。そしてその理由』。参加者からは、「いずれ生まれる子どもと新しい家で幸せに暮らしている」「夫婦で何気ない日常を過ごしている」などの意見が出され、それぞれ理由があげられました。

課題2では、課題1で思い浮かべた未来像を念頭に置きながら、『家族の未来に向けて何を大事にしたいか』について話し合います。親として大事にしたいこと、個人として大事にしたいことを分けて考えることで、各自が望む未来を、より具体的に想像する時間になったようです。

課題3ではいよいよ家事・育児の分担について話し合います。ワークシート上で家事・育児を4つに分類します。

- | | |
|----------|-----------|
| 2人で対応する | 優先的にやる |
| | 最悪の場合やらない |
| 2人で対応しない | 外部サービス利用 |
| | 本当にやらない |



家事・育児の分担 どうする？ どうしてる？

4つに分類したものを参加者同士でシェアします。話を聞いていると、夫婦間でお互いが得意分野を担っているケースが多い様子。家事サポートやファミサポなどの外部サービスを頼んでいる参加者は、「助かっている」と話す一方で、外部サービスの必要性を考えて申し込みをするのは自分ばかりなのでパートナーと共有したい、と新たな視点をっていました。

また「子どもの成長に合わせて、家事・育児の分担をアップデートする機会が必要だ」という声には、他の参加者から賛同が上がっていました。



課題4は『夫婦で話し合いの機会を持つ』です。コネヒト株式会社の調査によると、「夫婦で話し合いの場を持っている」と答えた人は半数以下とのこと。

夫婦関係を継続していく中で、両者が納得できる分担におさまるケースもあれば、片方が負担を担い、我慢し続けているケースもあります。アップデートを自然に任せられる夫婦ばかりではありません。どこかで話し合いの機会を持つことで、夫婦の満足度は高めることができそうです。

最後に全体で各グループのワークの共有がおこなわれました。

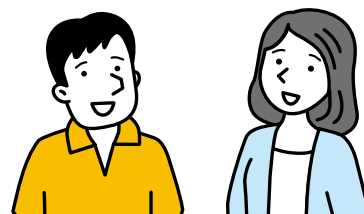
育児の先輩から「なるほど」と教えてもらえることが多くて有意義な時間を過ごせたという感想や、週末は外食が多くて贅沢という罪悪感があつたが割とみんなもしていて気持ちが楽になったという意見、今までやらなきゃいけないと決めつけていたものをやらなくてもすむ方法を考えることが大事だと思ったなど、それぞれの参加者が自分の家庭にフィードバックできそうなヒントを得られたようです。

さらに講師に質問！

話し合いをするつもりが、意見のぶつけ合いになったり喧嘩に発展したりしがちです。うまく話し合えるヒントはありますか？

どんな家族を作っていきたいのかを夫婦間で共有し、そのためにどんな分担をしていくといいかなど、大きなゴールから日常の分担を話すとういと思います！

家族の未来を見据えながら
今できることを考えよう



参加者アンケート

Q パートナーと一緒に家事・育児に取り組むために必要だと思うことは？

- 話し合い ●妥協 ●お互いを思いやる心 ●コミュニケーション ●協力
- 折り合い点を見つけること ●お互いに感謝する気持ち ●意見の交換



Q ワークショップを通じてどんな発見や自身の変化がありましたか？

"話し合いの大切さ再認識"

「違う環境で過ごした2人が何十年も一緒に生活していくのに、何の話し合いもせず、夫婦生活を始めている人が多いことがそもそもおかしかったのだと思った。話し合いの大切さを再認識した」

"脱完璧"

「家庭生活においては柔軟な考え方を持つよう努力することが大事だと感じた」

「他の方の意見を聞き、家事育児を完璧にこなさなくてもいいと感じたことで、気持ちが楽になった」

"アップデートの必要性"

「決めてしまうのではなく、その時々によってやらなきゃいけないことも違うので、その都度話し合っていこうと思った」

Q ワークショップ全体を通した感想を教えてください

"男性の参加を"

「もっと男性が参加して、社会全体の感覚が変わっていくといいなと思った」

"いろんな意見を聞いた"

「普段仕事ばかりで家事・育児について話すことも聞くこともなかったので、今回のワークショップに参加しいろんな意見が聞けてよかった」

"もっと話したい"

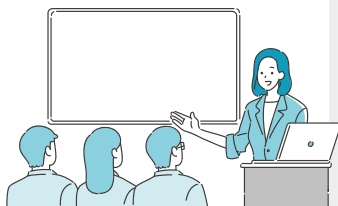
「とても楽しかったので、もっと皆さんと話す時間がほしかった。コロナ禍なので難しい部分もあるけれど、皆が集まって、託児もついていたらよかったなと思った」

金沢市女性センター ※

男女共同参画推進の拠点施設です

①男女共同参画支援セミナー

誰もが自分らしく、生涯を通じて充実した毎日を過ごせるよう、男女共同参画の視点で生活に密着した講座を実施しています。



②貸館事業

セミナー内容や貸館の詳細はホームページをご覧ください。皆さまのご利用をお待ちしております。

お問い合わせ

金沢市女性センター
〒920-0861 金沢市三社町1番44号3階
(金沢駅より徒歩12分)
TEL 076-223-1265 FAX 076-223-6299



男女共同参画出前講座 ※

グループや団体、企業等が主催する研修会や勉強会に講師を派遣します。

【講座のテーマ】(一例)

- ◆ジェンダー問題ってなに？紙芝居で楽しみながら考えよう！
- ◆セクハラ・パワハラを生まない職場づくり
- ◆女性に対する暴力と護身を学ぼう
- ◆更年期とうまく付き合うために
～女性のこころとからだを整える～

この他にもさまざまなテーマをご用意しています。お気軽にご相談ください。

対象 金沢市内に所在し、活動する企業、団体、グループ等
(15名以上の参加が見込まれるもの)

時間 30分～1時間程度(質疑応答を含む)

費用 無料

詳しくは、金沢市男女共同参画ホームページをご覧ください。



※新型コロナウイルス感染症の状況により変更となる場合があります。詳細についてはお問い合わせください。

DV防止啓発シンポジウム

加害の心理と行動変容を学びます

日本のDV被害者支援は被害者が加害者から離れる支援が中心で、加害者に対する暴力抑止の支援はほとんどありません。本シンポジウムでは、欧米の先進国で実施されている加害者更生のためのプログラムの内容とともに、加害の心理と行動変容のプロセスについて学びます。

内容 DV加害の心理と更生プログラムを知る
～加害者は、どこまで変わるか～

日時 【リアルタイム配信】
11月2日(水) 15:00～16:30
【オンデマンド配信】
11月9日(水) 9:00～11月30日(水) 21:00

講師 草柳和之氏
(大東文化大学非常勤講師、メンタルサービスセンター代表)

申込先 ダイバーシティ人権政策課
申込開始 10/4(火)～

お申し込みはこちらから！



ダイバーシティ人権政策課が実施する
その他のイベント・講演等の情報はこちらから

金沢市 男女共同参画

検索

女性相談支援室 (配偶者暴力相談支援センター)

夫婦問題、離婚などの不安や悩みの相談
配偶者や交際相手からの暴力などの不安や悩みの相談
生活、その他女性の身上相談
※DV被害男性のご相談にも応じます。

相談
専用電話

076-220-2554 月～金 9:00～17:00
秘密は堅く守られます。

特別相談
要事前予約

女性弁護士による法律相談 毎月第1火曜午後、第3金曜午後
臨床心理士による心の相談 毎月第2木曜午前
カウンセリング 毎週木曜

金沢市男女共同参画都市宣言 平成25年12月16日 金沢市議会議決

私たちのまち金沢は、市民一人ひとりが、歴史と伝統に学び、個性豊かな風格と活力のあるまちづくりを進めてきた。
すべての人が性別にかかわらず尊重される社会の実現のためには、市民一人ひとりが互いの違いを認め、あらゆる分野に平等な立場で参画する機会が確保されるとともに、国際社会における取り組みと協調し、連携を深めていくことが重要である。
よって、私たちすべての市民は、次代を生きる若者や子供たちが個性と能力を発揮できる未来とすため、男女共同参画都市となることを宣言する。

令和4年10月発行



金沢市男女共同参画